



洛風だより・ほかほか通信 ～保護者のみなさまへ～

後期がスタートしました

昨日より、後期がスタートしました。今年は、後期の転入生徒がいいため、新たな出会いはありません。5月に出会った仲間たちと後期の様々な行事、活動に取り組んでいきます。3年生は、「秋パーティ」の準備を始めています。1・2年生は校外学習も待っています。

「本当の優しさを身につけたい」

生徒たちの一人一人の秋の目標に「本当の優しさを身につけたい」という言葉を見つけました。この生徒は5月の時には「また、いじめにあわないだろうか」というような不安な気持ちを表現していました。多くの生徒たちと同様に本当に心配だったのだと思います。しかし、この洛風で過ごすうちに、自分と向き合うことができ、仲間のことに目が向くようになってきたのではないかと思います。そこには、もう少し強くなりという願いも込められているかもしれません。他にも「周りにいる人を笑顔にしたい」や「身近にいる人を大切にしたい」という言葉もありました。

自分のことで精一杯だった生徒たちが、仲間を意識し、仲間のためになることを考えるようになっていく。そういう子どもたちの変化や成長に気づいてやるのが、子どもをより勇気づけていくことになるのではないのでしょうか。

「仲間のことを知ること」も優しさ

「本当の優しさ」ってどのようなことでしょうか。いろいろなことが考えられます。私は、「その人のことを知ろう」ということも、優しさの一つとして考えられるのではないかと考えています。「自分はこうだけど、友だちはこうなんだ。こう思うんだ。じゃあ、どうしたらいいんだろう」と、「この人と一緒に暮らすにはどうしたらいいのか?」と考えてみることも一つの優しさのカタチではないのでしょうか。

大丈夫、みんながいつもそばにいる

上の言葉は、10年前の卒業生が12月の人権月間に考えてくれた言葉です。そして、昨日♪「知らない」という言葉の意味 間違えていたんだ 知らない人のこと いつの間にか「嫌い」と言っていたよ♪という出だしで始まる「SEKAI NO OWARI」というグループが歌っている「プレゼント」という曲を生徒たちと一緒に聞きました。

洛風にも、様々な思いをもった生徒たちがいます。花背山の家の場合や修学旅行、そして日々の授業や活動を通じて、仲間のことを少しずつ知ようになってきています。

後期の行事や日々の暮らしの中で、違いを認め合って、これまで気づいていなかった自分のこと、仲間のことをもっともっとお互いに知り合ってほしいと思っています。

♪ひとりぼっちになりたくない ここにいてよ その言葉言えなくて 心閉ざさないで
ひとりぼっちにさせないから 大丈夫だよ その言葉返せるように 強くなりたい♪

後期では、より「仲間とともに」いるんだという実感をもってくれるよう願っています。



「平成27年度
京都市幼児・児童・生徒作品展姉妹都市交歓作品展」での生徒たちの作品です

お知らせ

10月28日(水) カウンセラーを囲む会

11月1日(日) 日曜参観